

## □ 要請番号 (JL00916B05)

募集終了



| 国名    | 職種コード 職種  | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                       |
|-------|-----------|------|------|----|------|----------------------------|
| マレーシア | G102 環境教育 |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

住宅・地方自治省

## 2) 配属機関名 (日本語)

廃棄物管理清掃公社(SW Corrp)マラッカ支社

## 3) 任地 (マラッカ州マラッカ) JICA事務所の所在地 (クアラルンプール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

廃棄物管理清掃公社は2008年に設立されたごみ収集事業や公共施設清掃の実施監督機関であり、民間に委託されているごみ収集事業の管理監督や公共の場の清掃、ごみの埋立地プロジェクトへの関与、ごみの減量化やリサイクルの推進などが主な業務。当配属先への協力としては、クダ支社に対し2014年1月からボランティアによる協力を開始し、現在クダ支社では3代目(1年派遣)が活動中のほか、本部で初代隊員が活動している。2016年に新たに3支社への隊員の派遣要請があり現在募集をしている。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

隊員はマレーシア中部のマラッカ州マラッカにある支社に勤務し、ごみの減量化のための環境教育キャンペーン実施、3Rの推進、各家庭へのコンポストの普及推進が主な業務となる。マレーシアではごみの排出量が政府予想よりも速く、最終処分場の確保などが大きな課題となっている。ごみの減量化は最終処分場の有効活用や収集コスト削減の方法として重要視されている。ごみの減量化や3R活動については教育機関や市内の特定箇所、ショッピングセンターなどで有価物の買取を実施しており、徐々に参加団体や参加者が増えつつある。マレーシアでは2015年9月から家庭ごみ分別回収が開始されたが、その徹底のために公社としては住民の自覚を促す様な啓発活動を目指しており、2012年に10.5%であったごみリサイクル率を2020年に22%にすべく今回のJICAボランティアの要請となった。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

ボランティアはPublic awareness課に配属され、以下の業務を行う。

- 1.3Rの推進。幼稚園や学校、住民グループからの有価物の買取促進。3R推進のためのイベントの企画・運営を行う。
- 2.NGOや市民グループとの関係を強化し、NGOや市民グループ主導による3R活動の定着を目指す。
- 3.学校や住民グループへの簡易コンポストの普及推進。
- 4.2015年9月から開始されたリサイクルのための家庭ゴミ分別回の徹底に向けた住民への周知を行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ノートPC、プロジェクター等

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

マラッカ支社総スタッフ数 60名

Public awareness課スタッフ数3名

課長:女性(29歳/経験2年/大卒)

スタッフ:2名(男、年齢(30歳前半/経験5年/高校卒)

## 5) 活動使用言語

マレーシア語

## 6) 生活使用言語

マレーシア語

## 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒） 備考：同僚とのバランス

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

#### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（25～35℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

### 【特記事項】